

## 臨床疾病各論演習

責任者・コーディネーター	医学教育学講座地域医療学分野 伊藤 智範 教授		
担当講座・学科(分野)	医学部臨床講座、統合基礎講座、医歯薬総合研究所		
担当教員	学内協力教員		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12.0 時間
期間	後期		

### ・学習方針（講義概要等）

代表的疾患を理解できるようになるために、病態生理を基礎医学から結び付けられるように、学習する。基礎医学に立脚して疾病を理解できるように、疾患の症状を病態生理や解剖学と結び付けて、確認をしながら演習を行う。  
オープン問題を予習して、医学用語を理解することが必要である。当直実習で経験した疾患を本演習で深く理解することが重要である。

### ・教育成果（アウトカム）

臨床で遭遇する重要な疾患を理解するために、オープン問題に示されている疾患の概略を理解して、適切な医学用語を使って、自らの言葉で述べることができる。

### ・到達目標（SBO）

1. 基礎医学に立脚して、臨床医学の基本である内科学の範囲を主体に、代表的疾患の基本的な病態生理を、適切な医学用語を用いて、自らの言葉で説明できる。
2. 疾患に関する症状を述べることができる。
3. 実習予定の当直実習に関連して、プライマリーケアが重要な疾患を概説できる。
4. 当直実習した疾患をこの演習で、理解を深める。

・ 講義日程

(矢) 西 102 1-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
8/29	月	3			担当教員および当直実習については別途通知する。
8/29	月	4			
8/31	水	3			
8/31	水	4			
9/7	水	3			
9/7	水	4			
12/12	月	1			
12/12	月	2			

・ 教科書・参考書等

岩手医科大学公開症例集

・ 成績評価方法

当直実習で経験した疾患のうち、自ら内科各分野のオープン問題から代表的疾患を2つ選定する。その疾患について、試験を実施する。試験形式は、オープン問題に準じる。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			